

金融仲介機能の発揮に向けた取り組み

～地域密着型金融への取り組み状況～

(2024年3月期)



佐原信用金庫

佐原信用金庫は、金融サービスを通じて地域経済の活性化に貢献すべく、積極的に地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

こうしたなか、2016年9月に、金融庁は、お客さまの課題解決へ向けた取り組みなど、金融仲介機能の発揮状況を評価する指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」を策定・公表しました。

当金庫では、2018年度より金融仲介機能のベンチマークを活用し、地域密着型金融の取り組み状況を検証しながら、取り組みをさらに強化し、金融仲介機能の発揮に取り組んでおります。

■お客さま本位のサービスを徹底し、経営基盤の強化を図っています。

①事業資金をご利用いただいている中小企業先数・融資残高

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
融資先数	2,200 先	2,186 先	2,148 先
融資残高	50,613 百万円	52,937 百万円	52,637 百万円

・新型コロナウイルス感染症の影響が低下し、2020 年度より積極的に取り組んできたコロナ対策融資の返済が進んだことで、事業資金のお取引先数は 38 先減少（▲1.7%）、融資残高も 3 億円減少（▲0.5%）となりました。一方で、原材料やコスト高の影響を受けているお取引先は増加しており、資金繰り支援や本業支援の取組みを強化しております。

②各年度に事業資金を新規にお取引いただいた先数・ご融資金額

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
新規取引先数	170 先	190 先	164 先
融資金額	2,974 百万円	2,906 百万円	1,744 百万円

・新型コロナウイルス感染症の拡大以降、予防的な資金確保の動きもあり、地域企業全体の資金調達が過剰となっておりましたが、2023 年 5 月に新型コロナの感染症法上の分類が 5 類に移行して以降、余剰資金の調整局面に入ったことで資金ニーズが減少し、新規取引先数・融資金額は減少となりました。

③当金庫をメインバンクとしてお取引いただいている法人企業のうち経営指標が改善した先

	2023年3月	2024年3月
メイン取引先	616 先	581 先
うち経営指標(※)が改善した先数	467 先	482 先
割合	75.81%	82.96%

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けるお取引先が減少したことで当金庫メイン先の経営指標は改善傾向が続いており、2024 年 3 月期では改善した先の割合が 82.96%まで上昇しました。一方で、原材料価格高騰等の影響を受けているお取引先は増えており、引き続き、お取引先の経営課題の解決、地域経済の回復に向けて全力で取り組んでまいります。

※ 売上、営業利益率、就業者数のいずれかが改善した先をカウント

■当金庫営業区域の主要産業である農業に対する金融支援に取り組んでいます。

④農業向け融資先数・融資残高

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
農業融資先数	251先	247先	250先
事業資金残高	4,706百万円	4,870百万円	5,171百万円

・香取郡市並びに茨城県鹿行地域の主要産業である農業に対して、積極的な金融支援に取り組んでおり、融資残高も着実に増加しております。

ご支援に当たっては、お客さまの資金ニーズに応じて、外部機関とも連携しながら、最適な金融サービスをご提案しています。

農業融資への取り組み

日本政策金融公庫による農林漁業者向け「定期相談窓口」を当金庫成田支店に設置（信用金庫業界初）し、毎月第2水曜日に相談会を実施しているほか、農業経営アドバイザーの資格取得推奨（2024年7月現在30名）などにより人材の育成にも努め、貸出金に占める農業融資割合が8期連続して全国の信用金庫で第1位となっております。



日本政策金融公庫の定期相談会の様子

農業経営体育成セミナー（2023年7月10日）

香取郡部の若手農業経営者や新規就農者が農業経営に必要な知識や技術を学ぶ、千葉県香取農業事務所主催の「農業経営体育成セミナー」に当金庫職員を講師として派遣し、販路拡大や商談に必要な知識や心構え、商品説明シートの作成方法について説明しました。

また、当金庫が開催する「香取の杜地域産品商談会」に本セミナー修了生からも参加頂いており、販路拡大にも貢献しております。



お取引先企業のライフステージに応じた支援

■お取引先企業がライフステージごとに発生する課題に対して、外部機関とも連携しながら、解決をサポート致します。



円滑な資金供給

- ・事業性評価に基づく融資
- ・担保保証に過度に依存しない融資

+

課題解決

- ・創業セミナー、事業承継セミナー等各種セミナーの開催
- ・各種補助金、公的支援制度の紹介・申請支援
- ・商談会の開催等販路拡大支援、全国の信用金庫ネットワークを活用したビジネスマッチング
- ・DX化、省エネ等に係るGX化支援
- ・副業人材マッチング等の人材活用支援
- ・外部機関と連携した経営支援 など

お取引先企業のライフステージに応じた支援

■お客さまのライフステージに応じた金融サービスの提供、各種サポートを行っています。

⑤創業、新事業に係る融資先数・融資金額

	2021年度	2022年度	2023年度
実行先数	33先	35先	51先
実行金額	477百万円	829百万円	693百万円

- ・2023年度は51先のお客さまに創業に係る金融支援（創業融資）を行いました。
- ・金融支援以外でも、各種創業支援を実施しております。
 - >香取市、佐原商工会議所、香取市商工会、（公財）千葉県産業振興センター他と連携した創業セミナーや創業スクール「香取創業塾」の開催
 - >ビジネスアイデアのブラッシュアップと実践支援を行う「佐原のあした PROJECT」を（株）エヌアイディとともに共催
 - >事業計画策定支援、創業に必要な諸手続き、各種補助金や公的支援制度のご案内 など

⑥事業承継支援件数（相談件数）

	2021年度	2022年度	2023年度
相談件数	50件	52件	54件
支援着手件数	25件	27件	20件

- ・事業承継に関するアンケートを実施させて頂くことで、54件の事業承継に関する相談を頂きました。
- ・アンケートを頂いた中から、千葉県事業承継・引継ぎセンターや（独）中小企業基盤整備機構、（公財）千葉県産業振興センター等の外部専門家と連携して20件の具体的な事業承継支援を行い、円滑な事業承継に向けたお手伝いをさせて頂きました。
 - >事業承継個別相談会の開催、事業承継計画策定支援 など

お取引先企業のライフステージに応じた支援

■金庫内情報、信用金庫業界のネットワークを活かし、お客さまの販路拡大をご支援致します。

⑦販路開拓支援を行った件数

	2021年度	2022年度	2023年度
販路開拓支援件数	147件	125件	129件

・お客さまの「売りたい」、「買いたい」情報を当金庫の支店間や信用金庫業界のネットワークを活かしながら繋ぐ、商談会やビジネスマッチングフェアの開催を通じて、お客さまの販路の拡大、売上増加の支援に取り組んでいます。

しんきん食の商談会 (2023年10月24日)

信用金庫取引先の販路拡大を目的に千葉県内5信用金庫が連携して開催している「しんきん食の商談会」について、コロナ5類移行後の経済活動活発化に伴い、2019年度以来4年振りとなる会場開催による対面型での商談会を実施しました。5信用金庫全体で約47社のバイヤーと約69社の出展者が参加し、約441件の商談が行われました。



香取の杜地域産品商談会 (2023年9月6日)

香取市内農業生産者の販路拡大や6次産業化、飲食店、スーパーの特色ある仕入れを支援する目的で、「香取の杜 地域産品商談会」を開催しました。

当日はサプライヤー22社とバイヤー27社（うち食品関連企業3社）が参加して、自慢の農産物をPRしながら、バイヤーから売るためのコツを教えてもらうなど、活発な商談が行われ、商談件数は157件にのぼり27件の商談が成立しました。



■金庫内情報、信用金庫業界のネットワークを活かし、お客さまの販路拡大を支援致します。

ファーマーズマーケットの後援(2023年11月18日~19日)

香取市近郊の農業生産者の販路支援や農業生産品の市外、県外へのPRを目的に、佐原の小野川沿いで開催された「ファーマーズマーケット」を後援しました。当日は、近隣にお住まいの方だけでなく、市外県外からの観光旅行者も多く訪れ会場は賑わいました。



文化体験を取り入れたインバウンド向けバスツアー (2023年11月16日・18日)

コロナ禍で低調だったインバウンドの急速な回復を受けて、香取市の観光と地域特産品をPRするために、日帰りのモニターツアーを開催しました。当日、参加者は着物に着替えて佐原の町並み散策や酒造で試飲体験を行ったほか、香取神宮の正式参拝、和菓子職人の手ほどきを受けながらの練り切り和菓子作りを体験しました。



お取引先企業のライフステージに応じた支援

■担保・保証に過度に依存することなく、事業を適切に評価した融資に取り組んでいます。

⑧無担保融資のある先数及び無担保融資額の割合

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
無担保融資のある先数	576先	568先	572先
事業資金先数	2,200先	2,186先	2,148先
割合	26.18%	25.98%	26.63%
無担保融資額	12,636百万円	13,587百万円	14,556百万円
事業資金残高	50,613百万円	52,937百万円	52,637百万円
割合	24.97%	25.67%	27.65%

- ・2023年度は、前年度に比べ無担保融資のある先数は4先、金額は969百万円、割合は1.98%それぞれ増加しました。
- ・担保・保証に過度に依存することなく、お取引先企業の成長可能性や事業内容を適切に評価した融資に取り組んでいます。

⑨経営者保証に依存しない融資の割合

	2021年度	2022年度	2023年度
経営者保証に関するガイドラインに基づき、無保証で融資した件数の割合	29.09%	30.35%	43.47%

- ・お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえたうえで経営者保証の必要性を検討するなど、適切な対応に努めています。
- ・無保証で融資した件数の割合は43.47%と前年度比13.12ポイント増加しました。

■お取引先企業の経営改善に向けた取り組みを支援しています。

⑩経営支援先及び条件変更先数

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
経営支援先及び条件変更先数	97先	105先	110先

- ・お取引先企業ごとに経営改善支援の必要性について分析したうえで「経営改善支援先」を選定し、財務内容や収益性の改善に向けた取り組みを支援しています。
- ・必要に応じて、外部機関とも連携しながら、経営改善を支援いたします。

地域経済活性化に関する取り組み

■ 地域のみなさまと一緒に地域社会の活性化に取り組んでいます。

慶応義塾大学のフィールドワーク受け入れ(2023年8月30日～9月1日)

香取市佐原の地域課題解決をテーマに慶応義塾大学 SFC 研究所によるフィールドワークが実施されました。7名の学生が当金庫を訪れ、当金庫の取り組み事例「地域資源を活用した地域課題解決」について学びました。最終日には学生達より7つの解決策が提案され当金庫役職員も審査員として参加し、地域の課題解決策について共に考えました。



佐原白楊高校への講師派遣(2024年2月1日)

若い世代のこれからの資産形成や職業観に対する意識醸成を目的に、千葉県立佐原白楊高校の総合的探究課程に当金庫職員を講師として派遣しました。当日は2学年生170人に香取市職員も加わり地域課題を解決するローカルビジネスについて共に考えました。生徒からは空き家活用に関する事前課題に基づいた提案や意見が多く発表され、地域の未来を若い世代と考える良い機会となりました。

